

2024 年度

事業計画書

1 事業計画書

2 収支予算書

自 2024 年 4 月 1 日

至 2025 年 3 月 31 日

1. 当法人の現況に関する事項

(1)事業の経過及びその実績の概要

清水港の2023年度(4~3月)のコンテナ貨物取扱数量(空コンテナを含むTEU換算)は、内外貿を合わせて前年比6.1%減の50万7157TEUでした。本年度、我が国の経済はコロナ禍からの復活はあったものの、輸出貨物の復活には品目別のバラつきがあり、輸入も円安が引き起こす購買能力の低下により前年に比べれば減少いたしました。

23年度のコンテナ貨物取扱個数のうち外貿は5.4%減の40万4094TEU。輸出が7.8%減の19万9138TEU、輸入も2.9%減の20万4956TEUでした。内貿コンテナも8.9%減の10万3063TEUと減少しました。

*数値出典元は清水港管理局統計、RORO船取扱いのコンテナ個数を含む数値となっています。

当協会の2023年度の経常収益は、前年比122.4%(16,978千円増)の92,851千円となりました。主な増加要因は、施設整備補助金が前年の12,326千円に対して、本年は33,017千円となったことです。昨年は空調設備の差替え・取得として資産計上する内容だったため期中に減価償却する1,546千円だけが収入計上されたのに対して、当年は全額が補修費として一時費用化し同額を収入として計上したことが、表面上では大幅な増収として表れています。

各事業の概要は次の通りです。

①収益の基盤である港湾福利分担金は、取扱量の若干の回復に伴い 前年比92.2%(4,030千円減)の47,540千円となりました。

②・継続事業1のセンター運営等は、メインの会議室利用料収入が前年比23千円増加し259千円。
・継続事業3の体育文化事業では、テニスコート利用収入等が前年比62千円増加し1,068千円。

・継続事業4の小島港湾住宅賃貸事業では、前年比273千円減少し8,108千円となりました。

年度末時点での空き室は、3DKで12室中3室となっています。

③その他の日の出駐車場事業では、前年比113千円減少の2,023千円。年度末の利用状況は、収容台数33台のうち空は8台分です。

経常費用については、事業費が前年比108.3%(7,809千円増)の101,762千円となりました。費用が増加した原因は上述の施設整備助成金の使途が一時費用になったためで、修繕費は前年比199.5%(15,547千円増)の31,175千円でした。

その他の科目は概ね前年をしまわっており、光熱水料費は前年比80.3%(1,974千円減)の8,053千円、委託費は前年比95.5%(631千円減)の13,423千円となりました。光熱水費の減少はウクライナ侵攻等が引き起こしたエネルギー難が原因で売電先を売電事業者⇒中部電力パワーグリッド⇒中部電力ミライズと変更してきた中で、ようやく契約単価が下がってきた結果です。

体育文化事業はコロナ禍が過ぎ需要は回復しましたが協会財政改善のため利用ルールを厳格化したため、支払い助成金が前年比117.2%(2,572千円減)の10,795千円となりました。

管理費は、修繕費が前年比117.2%(1,268千円増)の1,373千円が目立ちますが、浄化槽改修費用の配賦分が主因となっています。

以上から、経常収益合計の92,851千円から事業費と管理費を合わせた経常費用101,762千円を差し引いた当期経常増減は、△8,911千円(前年比49.3%、9,169千円減少)と赤字幅が半減いたしました。

償却前利益は7,724千円増の3,029千円となりキャッシュの流出が止まるレベルまで改善しました。

当協会におきましては、引き続き港湾福利厚生施設の整備充実に積極的に取り組み、福利厚生事業の推進を図ってまいります。

(単位：千円)

事業別経常収益		本年額	前年額	増減
実施事業	(継1)センターの運営等	264	239	25
	(継2)養成・訓練の施設運営	2	0	2
	(継3)体育文化奨励事業	1,082	1,006	76
	(継4)小島港湾住宅	8,108	8,391	△ 283
	実施事業 計	9,458	9,636	△ 178
その他事業	日の出町駐車場の運営	2,023	2,136	△ 113
事業収益 計		11,481	11,771	△ 290
法人会計 (港湾福利分担金、利息等)		47,540	51,623	△ 4,083
賛助会員受取会費		800	100	700
施設整備補助金 注1		33,017	12,326	20,691
経常収益合計		92,851	75,872	16,979

(2)本年度と直近5事業年度の財産及び損益の状況

(単位：千円)

区分	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	平成30年度
経常収益	92,851	75,872	66,274	82,870	81,400	94,033
当期経常増減額	△ 8,911	△ 18,081	△ 10,694	△ 9,420	△ 14,873	△ 12,525
正味財産期末残高	448,602	459,997	478,126	478,920	489,085	504,767

注1) 2023年度経常収益の施設整備補助金は、当年度施設整備補助交付額33,017千円のうち、当期一時費用と2022年度以前に資産整備のため正味財産に計上した施設整備補助金の一般正味財産への当年度振替額2,442千円(減価償却費分)で構成されています。

(3) 施設利用状況

①清水港湾労働者福祉センター（袖師センター）

区分		年度		2023年度	2022年度	前年度比較	2021年度	2020年度
食堂	人数			24,763	29,197	△ 4,434	29,423	28,488
売店	人数			844	773	71	1,008	1,180
理容室	人数			800	738	62	707	821
会議室	回数			74	67	7	48	44
	人数			1,307	1,386	△ 79	754	701
人数合計				27,714	32,094	△ 4,380	31,892	31,190
稼働日				283	280	3	288	284
〃（理容室）				277	264	13	277	270

②清水港湾興津センター

区分		年度		2023年度	2022年度	前年度比較	2021年度	2020年度
食堂	人数			30,788	28,435	2,353	24,884	27,498
売店	人数					0	3,475	4,235
人数合計				30,788	28,435	2,353	28,359	31,733
稼働日				285	285	0	288	284

③小島港湾住宅

区分		年度		2023年度	2022年度	前年度比較	2021年度	2020年度
年平均入居率 (%)	3DK 【12室】			61	67	△ 6	71	86
	2DK 【12室】			97	92	5	88	85
家賃収入(千円)				8,109	8,382	△ 273	8,263	9,117

④日の出町駐車場（最大収容台数：小型32台、軽1台）

区分		年度		2023年度	2022年度	前年度比較	2021年度	2020年度
年平均稼働率 (%)				81	85	△ 4	89	89
賃貸収入(千円)				2,023	2,136	△ 113	2,199	2,199

⑤田子の浦港 富士埠頭休憩所(第3センター)

区分		年度		2023年度	2022年度	前年度比較	2021年度	2020年度
利用人数				797	797	0	1,202	1,131

⑥田子の浦港 中央埠頭休憩所(第2センター)

区分 \ 年度	2023年度	2022年度	前年度比較	2021年度	2020年度
利用人数	1,726	1,723	3	1,203	1,074

⑦田子の浦 トレーニングルーム(第1センター)

区分 \ 年度	2023年度	2022年度	前年度比較	2021年度	2020年度
利用人数	1,936	1,928	8	1,928	1,944

⑧馬走テニスコート

区分 \ 年度	2023年度	2022年度	前年度比較	2021年度	2020年度
利用人数	3,791	4,272	△ 481	5,152	4,594

⑨シーパレス・リゾート

区分 \ 年度	2023年度	2022年度	前年度比較	2021年度	2020年度
利用人数	1,516	2,804	△ 1,288	1,584	1,324
助成金額(円)	4,017,000	7,462,500	△ 3,445,500	4,153,500	3,472,500

⑩築地センター (訓練用揚貨装置)

区分 \ 年度	2023年度	2022年度	前年度比較	2021年度	2020年度
延利用人数	2	25	△ 23	19	14
稼働日数	2	8	△ 6	3	5

(4)施設整備

2023年度実施の主な施設整備の状況は以下の通りです。

(単位：円)

施設名	工事及び整備の内容	金額	備考
清水港湾労働者 福祉センター	厨房機器修繕	255,684	修繕費
	エアコン室外機修繕	1,826,000	〃 日港福助成金対象
	浄化槽一式更新	24,530,000	〃 日港福助成金対象
	厨房排気送風機更新	3,520,000	〃 日港福助成金対象
	その他	279,400	〃
	小計	30,411,084	
清水港湾興津 センター	浄化槽修繕	699,600	修繕費
	ガス配管工事	170,500	〃
	その他	143,000	〃
	小計	1,013,100	
テニスコート	外周部フェンス張替	99,000	修繕費
小島港湾住宅	ハウスクリーニング	908,200	修繕費
	外部階段ノンスリップ張替	75,900	〃
	小計	984,100	
日の出駐車場	照明LED化	41,800	修繕費
合 計		32,549,084	内自前額： 1,973,484

(5) 文化体育奨励行事

文化体育奨励行事は、新型コロナウイルスが5類相当に認定され収束の方向に向かう中、本年は恒例の5つの行事のうち昨年より1つ増え、4つの活動が復活いたしました。

シーパレス利用需要も復帰いたしました。協会資金の流出を抑えることを目指し昨年度度2月から実施した利用同行者のルールの変更が通年で適用され、助成金額は昨年度の5割強に抑えさせていただきます。

2023年4月～ 2024年3月	シーパレス・リゾートを利用した会員事業者の従業員及び家族は宿泊料が半額、加えて当協会にて一人当たり3,000円（子供1,500円）の補助を行った (延利用者数：1516人／前年比1,288人減)		
2023年6月18日	清水港港湾組合 「釣り大会」	257,839	参加人数 約100名
2023年7月8日	アオキトランス(株) 貸切クルーズ	249,000	参加人数 約128名
2023年11月26日	清水港湾祭代替ボーリング大会	1,833,016	参加人数 約150名
2023年10月14日	田子の浦港慰安旅行	800,000	参加人数 180名

(6)役員会等に関する事項

①清水港湾福利厚生協会・理事会

開催年月日	議事事項
2023年5月16日	①2022年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)の件 ②2022年度公益目的支出計画実施報告書(案)の件 ③第57回定時評議員会招集の件 ④評議員会に提出する新役員・評議員案の件
2023年7月26日	みなし決議 ①「埠頭サービス株式会社」の「賛助会員」資格承認の件
2023年8月16日	みなし決議 ①理事1名選任の件
2023年11月14日	①2023年度上期事業報告について ②2024年度の日港福への施設整備助成希望事業について
2024年3月13日	みなし決議 ①2024年度事業計画及び収支予算書の承認の件

②清水港湾福利厚生協会・評議員会

開催年月日	議事事項
2023年6月6日	①2022年度収支決算 承認の件 ②理事、監事及び評議員の辞任につき選任の件 ③2022年度事業について報告 ④2022年度公益目的支出計画実施報告書について報告
2023年8月25日	みなし決議 ①辞任した松尾隆氏の後任理事に松井理明氏を選任すること

③日本港湾福利厚生協会主催会議

開催年月日	会議名	議事事項
2023年5月10日	第1回理事会	①2022年度事業報告(案)及び収支決算(案) 並びに公益目的支出計画実施報告書(案)の件 ②第61回定時総会招集の件
2023年6月14日	第61回定時総会	①2022年度事業報告(案)及び収支決算(案) 並びに公益目的支出計画実施報告書 ②2023年度事業計画及び収支予算の件 ③役員任期満了につき改選の件 ③定款一部変更(案)の件
2024年3月13日	第3回理事会	①2023年度事業報告(案)の件 ②2024年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件 ③会員入会の件

④日港福及び全国専務理事会等主催会議

開催年月日	会議名	議事事項
2022年10月13日	全国専務理事会役員会 全国専務理事会主催	①役員会の構成について ②決算及び会費等の取扱いについて ③専務理事会の経過について ④今後の検討課題について
2023年7月6日 ～ 2023年7月7日	全国専務理事会総会 全国専務理事会主催	①全国専務理事会事業報告・決算報告 ②各地区協会決算報告等 ③年会費等について
2023年10月12日 ～ 2023年10月13日	全国専務理事会議 日港福主催	①シーパレスの現状と利用促進について ②当面の諸問題について ③2024年度施設整備事業助成について ④ [特別講話] 港湾を取り巻く最近の情勢について 国土交通省港湾巨億 澤田 孝秋

2. 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏名	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
代表理事 (理事長)	西尾 忠久	非常勤	鈴与株式会社 代表取締役副社長
専務理事	岡田 良郎	常勤	
理事	佐々木 健	非常勤	清和海運株式会社 常務取締役総務部長
理事	杉山 行由	非常勤	田子の浦埠頭株式会社 取締役管理事業部長
理事	田形 淳	非常勤	株式会社天野回漕店 取締役総務部長
理事	松本 光弘	非常勤	鈴与株式会社 勤労部長
理事	小野 辰一郎	非常勤	一般社団法人日本海事検定協会清水第二事業所 事業所長
理事	松井 理明	非常勤	一般財団法人新日本検定協会清水事業所 所長
理事	田村 純	非常勤	一般社団法人全日検名古屋支部清水現業所 所長
理事	浦尻 勇利	非常勤	一般社団法人日本貨物検数協会清水事務所 所長
理事	込山 一	非常勤	全日本港湾労働組合東海地方清水支部 書記次長
理事	篠原 みちる	非常勤	全日本港湾労働組合東海地方田子の浦支部 副委員長

(2) 監事

役職名	氏名	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
監事	加瀬澤 正義	非常勤	鈴与株式会社 取締役コンテナターミナル部長
監事	遠矢 進一	非常勤	全日本港湾労働組合東海地方清水支部 書記長

(3) 評議員

役職名	氏名	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
評議員	鈴木 健一郎	非常勤	鈴与株式会社 代表取締役社長
評議員	柳川 明	非常勤	鈴与株式会社 常務取締役
評議員	青島 正明	非常勤	アオキトランス株式会社 常務取締役
評議員	小泉 明弘	非常勤	田子の浦埠頭株式会社 常務取締役
評議員	八木 敏明	非常勤	新興港運株式会社 常務取締役
評議員	松瀬 宇太郎	非常勤	清水埠頭株式会社 常務取締役
評議員	内田 剛	非常勤	全日本港湾労働組合東海地方清水支部 執行委員長
評議員	千頭和 達也	非常勤	全日本港湾労働組合東海地方田子の浦支部 執行委員長

(4) 退任した役員等

氏名	退任時の地位	退任日	退任事由
宮原 弘樹	監事	令和5年6月7日	一身上の都合により辞任
小島 泰樹	評議員	令和5年6月7日	一身上の都合により辞任
松尾 隆	理事	令和5年8月25日	一身上の都合により辞任

事業報告に関する附属明細書

◇港湾福利分担金実績について

港湾利用者と元請港運事業者より拠出される分担金トン当たり5円は、「3円を第1次分担金とし、地区協会に交付する。用途は運営費50%、施設整備50%とし、変更する場合は、日港福に報告し承認を得る。2円は第2次分担金として中央事業費とし、日港福に独自事業がない場合、1円50銭分を地区協会の施設整備に第2次交付金として交付する。」となっている。

港湾福利分担金交付額実績一覧表

各年度、1月から12月までの作業分が、3ヵ月遅れの4月から3月に交付される。
(単位：円)

年度	1次分担金 (地方分担金)	2次分担金 (中央分担金)	合計金額	指 数
平成20年度	59,250,008	39,500,005	98,750,013	100
平成21年度	43,743,310	29,162,207	72,905,517	74
平成22年度	43,319,586	28,879,724	72,199,310	73
平成23年度	42,003,202	27,986,137	69,989,339	71
平成24年度	41,502,176	27,641,389	69,143,565	70
平成25年度	40,429,719	26,953,146	67,382,865	68
平成26年度	47,527,993	31,685,328	79,213,321	80
平成27年度	50,258,663	33,505,775	83,764,438	85
平成28年度	50,893,030	33,928,686	84,821,716	86
平成29年度	52,859,356	35,239,570	88,098,926	89
平成30年度	54,734,066	36,489,377	91,223,443	92
2019年度	52,666,872	35,111,248	87,778,120	89
2020年度	49,343,007	32,895,338	82,238,345	83
2021年度	52,451,634	34,967,756	87,419,390	89
2022年度	51,571,665	34,381,110	85,952,775	87
2023年度	47,540,831	31,693,887	79,234,718	80

注1：平成20年9月15日に米国のリーマンブラザーズ経営破綻

注2：平成22年4月作業分(7月入金)より平成26年5月作業分(8月入金)まで事業者拠出1円が凍結

注3：平成24年度は福利厚生事業支援金5,240,000円が交付された(分担金には含まれない)

注4：平成25年度にも福利厚生事業支援金10,520,000円が交付された(//)

注5：凍結されていた事業者拠出1円が、平成26年6月作業分より解除(同年9月より交付)

注6：2019年12月中国武漢で新型コロナウイルス感染が発覚、その後の全世界の貨物量に影響を与えている